

ひまわり



令和2年9月11日(金)

目標を書いて口にしよう



中3の2学期、進路選択の時期が迫り来る中、担任の先生が話されたことをはっきりと覚えていきます。

「目標を叶えたいと思うのなら、紙に書いて見える所に貼っておきなさい。そして、毎日何度もそれを口にしなさい」

「受験勉強は気合いだ!」という雰囲気は漂ってきますよね。中学生だった私は、それで願いが叶うのなら受験勉強なんていないんじゃないか、と反発心を持って聞いていました。

ところで、最近「自己成就予言」という言葉を知りました。社会心理学の用語として使われており、「予言の自己成就」とも言います。これは、予言をした者もしくはそれを受け止めた者が、予言に沿った行動をとることにより、予言が実現されるというものです。

以前、坪田信貴さん(塾講師)は、「学年ビリのギャルが、1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話」という本を書きました。映画にもなり、大きな話題となりました。ある時、坪田さんは出演したテレビ番組で、次のように言っていました。「夢を叶えるコツは、口に出して言うことだ」

番組に同席していた元フィギュアスケート選手の鈴木明子さんも、「オリンピックに行きたいと口にしていたら、すべてがその方向に動き始めた」と言っていました。

これらのことは、目標を何度も唱えたから成功したのではありません。目標を叶えるため、人一倍の努力をした結果と捉えるべきです。しかし、目標を紙に書いて口にすることは、自分自身の頑張るきっかけや後押しにつながります。また、明確な目標をもち、その実現に向けて頑張っているあたなの姿を見た人の中には、あなたを援助しようと思う人が出てきます。

このように考えたとき、目標を紙に書いて口にすることは、目標達成のための有効な手段であると思います。皆さんも、目標を書いて口にしてみませんか。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

